


この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印		<input type="checkbox"/> 調停 家事 申立書 事件名 (寄与分) <input type="checkbox"/> 審判
収入印紙 円		(この欄に収入印紙1,200円分を貼ってください。)
予納郵便切手 円		

家庭裁判所 御中 令和 年 月 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印 甲野一郎 
-------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	準口頭
------	--------------------------------------	-----

申立人	本籍(国籍)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
	住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号 〇〇マンション〇号 (〇〇 方)
	フリガナ氏名	コウノ イチロウ 甲野一郎 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)
相手方	本籍(国籍)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
	住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇号 〇〇アパート〇〇号 -
	フリガナ氏名	オツカラ ハルコ 乙川春子 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 平成 (〇〇 歳)

別表第二、調停 (/)

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 相手方	本籍	都道 〇〇府(〇) 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地
	住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番〇-〇〇〇号
	フリガナ 氏名	コウノ タロウ 甲野 太郎 大正 (昭和) 〇〇年 〇月 〇日生 平成 () 歳
※ 被相続人	本籍	都道 〇〇府(〇) 〇〇郡〇〇町〇〇××番地
	最後の住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇郡〇〇町〇番〇号
	フリガナ 氏名	コウノ ジロウ 甲野 二郎 大正 (昭和) 〇〇年 〇月 〇日生 平成 () 歳
※	本籍	都道 府県
	住所	〒 — () 方
	フリガナ 氏名	大正 昭和 年 月 日生 平成 () 歳
※	本籍	都道 府県
	住所	〒 — () 方
	フリガナ 氏名	大正 昭和 年 月 日生 平成 () 歳

(注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、申立人、相手方、法定代理人、不在者、共同相続人、被相続人等の区別を記入してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申 立 て の 趣 旨

申立人の寄与分を定める調停を求める。

申 立 て の 理 由

- 1 申立人は、被相続人乙野二郎（平成〇〇年〇月〇日死亡）の長男であり、相手方乙川春子は長女、甲野太郎は二男です。被相続人は機械の部品を製作する工場を経営していました。
- 2 申立人は、昭和〇〇年3月に高校を卒業すると同時に、被相続人の希望もあったことから、被相続人の経営する工場を手伝うようになりました。当初は、部品の製造作業のみを担当していましたが、平成〇年〇月ころからは、営業を担当するようになるとともに、経営にも関与するようになりました。
- 3 その結果、取引先も広がり、売り上げも大きく伸びました。また、この間、申立人は、被相続人と同居し、生活をともにしてきました。
- 4 そこで、申立人は、相手方らに対し、被相続人の遺産分割協議の際、前記労務の提供による被相続人の財産の増加、維持に対する申立人の寄与を主張しましたが、相手方はこれらに応じないため、本申立てをします。